



八色西瓜栽培ぶよみ

八色西瓜生産組合
魚沼みなみ農業協同組合

10アール目標収量：600玉

留意事項

土作りとして、完熟堆肥「2」を前年秋に施用する／施肥量は、畑の地力、肥力度、残肥に応じて加減して下さい

密閉栽培

品種：富士光TR

施肥基準 (10a当たりkg)

	肥料名	施肥量
秋施肥	西瓜メロン配合	50
	油かす	30
基肥	マグクリン	70
春施肥	改良C D U	80
	苦土タンカル	100
追肥	改良C D U	20
	燐硝安加里	10
	油かす	30



★標準栽培密度★

畦幅 5m 株間 1m
10a当たり 200株

つる引き栽培

品種：祭ばやし777 / 縞王マックスRE

施肥基準 (10a当たりkg)

※基肥は、前年秋施用を基本とする。

留意事項

肥料名	基肥	追肥
西瓜メロン配合	20	—
マグクリン	70	—
苦土重焼燐	20	—
硫酸加里	10	—
油かす	30	30
燐硝安加里	—	10
改良C D U	—	20

品種による栽培特性の差異については、別紙栽培上の留意点を参照して下さい。

★標準栽培密度★

畦幅 3m 株間 80cm
10a当たり 370株
※4本整枝・2果摘果

病害虫防除 留意事項	月旬	主な作業	作業のポイント		
			主な作業	作業のポイント	
<ul style="list-style-type: none"> 農薬散布の時は、マスクをしよう。 防除薬剤は、別紙使用農薬一覧を参照下さい。 農業安全使用基準を必ず遵守して下さい。 	4	定植 (基準：4月20日～5月15日)	<ul style="list-style-type: none"> 定植は晴天時の午前中に行う。 定植時に根付け肥として液肥(400～500倍)をホット及び植穴に施用する。 ※かん注：1株/2～3% 灌水チューブ利用：10a/500～600% 定植時、アブラムシ対策としてアドマイヤー1粒剤もしくは、ベストガード粒剤を植穴に施用する。 定植後は、マルチ穴から熱風が出ないように土でふさぐ。 定植終了後、速やかにトンネル被覆して保温につとめる。 活着促進、トンネル内水分の補給、高温障害対策を兼ねてチューブ灌水を実施する。(10a/2,500%) 	定植 (基準：4月20日～4月30日)	<ul style="list-style-type: none"> 定植は晴天時の午前中に行う。 定植時に根付け肥として液肥(400～500倍)をホット及び植穴に施用する。 ※かん注：1株/2～3% 灌水チューブ利用：10a/500～600% 定植時、アブラムシ対策としてアドマイヤー1粒剤もしくは、ベストガード粒剤を植穴に施用する。 定植後は、マルチ穴から熱風が出ないように土でふさぐ。 定植終了後、速やかにトンネル被覆して保温につとめる。 株もと換気、つる先保温を原則とする。 夜間トンネル内温度10℃以上確保できるように管理する。
		かん水	<ul style="list-style-type: none"> 定植後7～10日(活着して、つるが伸び始めたら)経過した頃より換気を開始する。 ※1回目は風下側から株間に1カ所ずつ開け、その後天候とトンネル内温度を見ながら3～5日おきに穴数を増やす。 留意事項 トンネル内温度が40℃以上にならないように注意しましょう。 	換気管理	<ul style="list-style-type: none"> 日中のトンネル内温度が35℃～40℃以内になるように換気管理をしましょう。 ※高温が続くと、花とびを起こす事があります。 活着促進、トンネル内水分の補給、高温障害対策を兼ねてチューブ灌水を実施する。(10a/2,500%) 本葉6～7枚の時、摘芯を行い、つるの伸長を促す。 側枝が20～30cmになったら、揃ったつるを4本に制限し他のつるや脇芽は除去する。
アブラムシ類 菌核病 つる枯病 炭そ病 えき病・褐色腐敗病 ハダニ	5	換気開始	<ul style="list-style-type: none"> 定植後7～10日(活着して、つるが伸び始めたら)経過した頃より換気を開始する。 ※1回目は風下側から株間に1カ所ずつ開け、その後天候とトンネル内温度を見ながら3～5日おきに穴数を増やす。 留意事項 トンネル内温度が40℃以上にならないように注意しましょう。 	かん水	<ul style="list-style-type: none"> 活着促進、トンネル内水分の補給、高温障害対策を兼ねてチューブ灌水を実施する。(10a/2,500%) 本葉6～7枚の時、摘芯を行い、つるの伸長を促す。 側枝が20～30cmになったら、揃ったつるを4本に制限し他のつるや脇芽は除去する。
		摘芯	<ul style="list-style-type: none"> 親づるは本葉8～10枚で摘芯する。 	つる引き (1回目)	<ul style="list-style-type: none"> つるの長さ80～100cm時に側枝をかきとり、株元側に引き戻し、つる先を揃える。 ※株元近くからは側枝が再発生するので、随時かき取る。 つる引き作業が遅れると、その後の生育や管理にも影響が出るので、遅れないように注意しましょう。
	6	つる寄せ	<ul style="list-style-type: none"> つるの先端がトンネルに着いたら、中央につるを寄せる。 留意事項 つる先を折らないように注意しましょう。 	つる引き (2回目)	<ul style="list-style-type: none"> 着果目標位置の雌花が小豆粒大の時に、雌花が畦の中央に並ぶように揃え引き戻す。 追肥は開花4～5日前に畦間に施用し畦上げをする。 ※施肥量は草勢を見て加減する。
		追肥	<ul style="list-style-type: none"> トンネル除去の10～14日前にトンネル外全面に散布し、耕うん畦上げをする。 ※必要に応じ、除草剤、殺虫剤の散布を行う。 畦上げ後、敷きわら(わらいらす)を行い、つるが固定できるようにし、トンネル除去の準備をする。 トンネル内がつるで満杯になったら、トンネルを除去する。 ※着果予定7～10日前 トンネル除去後、速やかにつる先を揃えて等間隔に配置し、葉がなるべく重ならないようにする。 トンネル除去が終了したら、必ず防除を行う。 留意事項 薬害に注意しましょう。 	かん水	<ul style="list-style-type: none"> 雌花開花2～3日前に花の充実を回すためチューブ灌水を実施する。(10a/1,500～2,000%) 果実が鶏卵大くらいの大きさになったら着果棒を立てる。 ※2～3日で着果棒の色を変える。 留意事項 目標着果部位・・・20節前後(3～4番花)
	7	トンネル除去	<ul style="list-style-type: none"> トンネル除去の10～14日前にトンネル外全面に散布し、耕うん畦上げをする。 ※必要に応じ、除草剤、殺虫剤の散布を行う。 畦上げ後、敷きわら(わらいらす)を行い、つるが固定できるようにし、トンネル除去の準備をする。 トンネル内がつるで満杯になったら、トンネルを除去する。 ※着果予定7～10日前 トンネル除去後、速やかにつる先を揃えて等間隔に配置し、葉がなるべく重ならないようにする。 トンネル除去が終了したら、必ず防除を行う。 留意事項 薬害に注意しましょう。 	人工交配	<ul style="list-style-type: none"> 着果目標位置の雌花が小豆粒大の時に、雌花が畦の中央に並ぶように揃え引き戻す。 追肥は開花4～5日前に畦間に施用し畦上げをする。 ※施肥量は草勢を見て加減する。 交配開始予定4～5日前に子房肥大、花粉粘性の向上を図るためチューブ灌水を実施する。(10a/1,000～1,500%) 交配は、花粉の有無を確かめて確実に行う。 ※交配作業は、午前中に行うこと!! 交配時に着果棒を必ず立てる。 留意事項 目標着果部位・・・20節前後(3～4番花)
		かん水	<ul style="list-style-type: none"> 雌花開花2～3日前に花の充実を回すためチューブ灌水を実施する。(10a/1,500～2,000%) 果実が鶏卵大くらいの大きさになったら着果棒を立てる。 ※2～3日で着果棒の色を変える。 留意事項 目標着果部位・・・20節前後(3～4番花) 	着果表示	<ul style="list-style-type: none"> 着果目標位置の雌花が小豆粒大の時に、雌花が畦の中央に並ぶように揃え引き戻す。 追肥は開花4～5日前に畦間に施用し畦上げをする。 ※施肥量は草勢を見て加減する。 交配開始予定4～5日前に子房肥大、花粉粘性の向上を図るためチューブ灌水を実施する。(10a/1,000～1,500%) 交配は、花粉の有無を確かめて確実に行う。 ※交配作業は、午前中に行うこと!! 交配時に着果棒を必ず立てる。 留意事項 目標着果部位・・・20節前後(3～4番花)
	8	摘果	<ul style="list-style-type: none"> 果実の初期肥大を促進するために、チューブ灌水を実施する。(10a/2,500%) ※草勢を見て、必要に応じ液肥かん水を行う。 摘果は果実がソフトボール大までに行い、奇形果・低節位高節位着果のものを摘果し、草勢を見ながら1株4～6果になるように調節する。 ※摘果は、必要に応じ随時行う。 富士光TRは果数型品種です。摘果の遅れや摘果不足は、品質の低下(糖度不足等)や小玉果につながるため、注意しましょう。 留意事項 	摘果	<ul style="list-style-type: none"> 果実の初期肥大を促進するために、チューブ灌水を実施する。(10a/2,500%) ※草勢を見て、必要に応じ液肥かん水を行う。 摘果は果実がソフトボール大までに行い、同じ時期に着果した(2日以内)形状の良い果実を1株2果に制限する。 留意事項
		パットしき	<ul style="list-style-type: none"> 果実がダンブリ大くらいの大きさになったらパットを敷き、正位に乗せる。 パット下のマルチに水抜き穴を開けておく(病害対策) この時に最終摘果を行い、1株3～4果にする。 留意事項 マルチ上の水溜まりは、病害発生の原因になります。水溜まりを見つけたら、水抜きを行います。 	側枝除去	<ul style="list-style-type: none"> 着果後、トンネル内の側枝は着果上位2節まで除去し、それ以降の側枝の除去は絶対に行わない。 側枝除去は、草勢を見ながら行って下さい。 留意事項 草勢が弱い場合、側枝除去は着果節まで行いそれ以降の側枝は除去しないで下さい。
	8	玉直し	<ul style="list-style-type: none"> 収穫7～10日くらい前に、色むらをなくすために玉直しを行う。 	パットしき	<ul style="list-style-type: none"> 果実がダンブリ大くらいの大きさになったらパットを敷き、正位に乗せる。 パット下のマルチに水抜き穴を開けておく(病害対策) この時に最終摘果を行い、1株3～4果にする。 留意事項 マルチ上の水溜まりは、病害発生の原因になります。水溜まりを見つけたら、水抜きを行います。
		試し切り	<ul style="list-style-type: none"> 着果後40日(積算温度900℃)を目安に必ず試し切りを行い、収穫開始の判断をする。 適熟果の収穫につとめる。 ※収穫適期目安・・・着果後45日(積算温度970℃) 糖度11度以上 留意事項 収穫適期は同時期着果でも果実の大きさに異なります。小さいものは大きいもの比べて日数がかかるので、注意しましょう。 	玉直し	<ul style="list-style-type: none"> 収穫7～10日くらい前に、色むらをなくすために玉直しを行う。
	8	収穫	<ul style="list-style-type: none"> 着果後40日(積算温度900℃)を目安に必ず試し切りを行い、収穫開始の判断をする。 適熟果の収穫につとめる。 ※収穫適期目安・・・着果後45日(積算温度970℃) 糖度11度以上 留意事項 収穫適期は同時期着果でも果実の大きさに異なります。小さいものは大きいもの比べて日数がかかるので、注意しましょう。 	試し切り	<ul style="list-style-type: none"> 着果後38～40日(積算温度870～900℃)を目安に必ず試し切りを行い、収穫開始の判断をする。 適熟果の収穫につとめる。 ※収穫適期目安・・・着果後43～45日(積算温度930～970℃) 糖度11度以上 留意事項 収穫適期は同時期着果でも果実の大きさに異なります。小さいものは大きいもの比べて日数がかかるので、注意しましょう。
		収穫	<ul style="list-style-type: none"> 着果後40日(積算温度900℃)を目安に必ず試し切りを行い、収穫開始の判断をする。 適熟果の収穫につとめる。 ※収穫適期目安・・・着果後45日(積算温度970℃) 糖度11度以上 留意事項 収穫適期は同時期着果でも果実の大きさに異なります。小さいものは大きいもの比べて日数がかかるので、注意しましょう。 	収穫	<ul style="list-style-type: none"> 着果後38～40日(積算温度870～900℃)を目安に必ず試し切りを行い、収穫開始の判断をする。 適熟果の収穫につとめる。 ※収穫適期目安・・・着果後43～45日(積算温度930～970℃) 糖度11度以上 留意事項 収穫適期は同時期着果でも果実の大きさに異なります。小さいものは大きいもの比べて日数がかかるので、注意しましょう。

糖度11度以上・完熟品!!

「八色西瓜は私が太鼓判を押します!!」

